

県医労新聞

2010年1月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

佐々木 茂 喜

毎月1回発行 1835号(月刊50号)

謹賀新年



釜石・只越虎舞

目次

一頁 新年あいさつ

二頁 地域医療を守れ！
県民集会

12・10 団体交渉

三頁 自治体病院全国交流集会
日本医労連春闘討論集会

四頁 看護指導監との懇談
お知らせ

五―六頁 女性部ニュース

七頁 青年部ニュース

八頁 お正月パズルコーナー

九頁 新春スター訪問
豆知識 トラの話
パズル当選者発表

十頁 新春インタビュー

裏表紙 新春川柳
新春懸賞パズル
一月、二月の予定



去年は、オバマ米大統領の「チェンジ」で年が明けました。日本においても、長年続いた自民党政治が終焉し、新たに民主党が政権の座に就きました。

県立病院をめぐるのは、花巻厚生病院と北上病院が統合し、新しい「県立中部病院」が誕生。また、4月には5つの地域診療センターが強引に無床化され、花泉地域診療センターに至っては、住民や県議会の中から「病院事業継続」に対する強い懸念が示されたにもかかわらず、民間移管されることとなりました。

岩手における地域医療の主な担い手は、紛れもなく県立病院です。先人が心血を注いで築き上げて来た、岩手が全国に誇る県営医療。今一度、岩手県民こそ、「県下にあまねく医療の均霑（きんてん）を」この原点に遡って考えることが大切になっていると思います。「命あつての物种、物种あつての命ではない」（旧沢内村深沢村長）。今後、経済効率優先、採算重視の「県立病院等の新しい経営計画」に基づく、病院縮小・再編、「合理化」が一層強まると思いますが、県民・住民とともに、地域医療を守り、労働条件を改善するたたかいを強めていきましょう。

さて、悪政の限りを尽くした自公勢力が退場し、「政権交代」が実現したとはいえ、医療・社会保障、公務労働を目の敵にした「潮流」や「人脈」（規制改革・民間開放路線）が影を潜めた訳ではありません。その証拠に、私たちの生活や職場における環境は悪くなる一方です。賃金・一時金の削減や医療費や公共料金などの各種負担金の増加で生活が苦しくなっています。職場は、相変わらず人手不足で、夜勤協定違反の9日夜勤があちこちで出てきたり、サービス（不払い）の時間外労働が常態化し、何ら手を打たないなど、我慢も限界まで来ています。

患者さんや家族、住民が安心できるような医療体制、職員が健康でゆとりを持って仕事ができるような環境を実現することは、夢なのでしょうか。

「夢だけど夢じゃない」。

「夢」を現実にする力は「決して、諦めないこと」。今年は寅年。勇猛果敢に要求前進に向け、取り組みを強めていきましょう。

今年もよろしく、お願いいたします。

中央執行委員長

佐々木 茂 喜

「地域医療を守れ！県民集会」開催 知事・医療局長に「要請書」提出

12月1日、「エスポワールいわて」において、「地域医療を守れ！県民集会」県立沼宮内病院の維持・存続を」が開催されました。

来年4月には、県立沼宮内病院の無床化が予定されます。



会場ビッシリ、165名が参加

オープニングは、マリンバ奏者・熊谷綾子さんの演奏、鈴木露通代表が主催者挨拶、県議会全会派に案内したところ、斉藤信県議（共産）が出席し議会報告を、千葉伝県議（自民）、及川あつし県議（無所属）からはメッセージが届きました。

もっと現場に 目を向けろ！

12月10日 団体交渉開催



医療局長（左）と委員長（右）

今回の団体交渉では、①3交代勤務者の年末年始の労働条件②労働時間短縮③超過勤務について中心に交渉しました。当局は職員の苦勞に伝えようとせず、「赤字」ばかりを強調し「とにかく提案どおり進める」と、今までと全く変わらない態度を押し通しました。

年末年始の非番割り振りでは、「今までの対応がイレギュラー。無くして当然」と、年間を通して連休もほとんど取れない3交代勤務の大変さに対して一切配慮しようとしませんでした。

各地域からの報告は、山田町の「山田病院と地域医療を守る会」、岩手町の「沼宮内病院の病院機能の維持・存続を求める実行委員会」、大迫町（花巻市）の「大迫の地域医療をとともに考える市民の会」、住田町の「住

地域医療再構築のため力を

会」。

田地域診療センターの診療体制の強化・充実を求める会」、花泉町（一関市）の「花泉地域の医療と福祉を守る会」からありました。

「住民組織連絡会」の及川剛代表が、まとめと今後の運動を提起し、県民集会終了後、直ちに、集会で確認した「要請書」を知事、医療局長に提出しました。要請行動には、及川代表、鈴木代表以下約30名が同席。要請文を読み上げて、

「県医労友の会」（県医労OB）や「久慈地域の医療を守る会」、「九戸村の医療を守る会」、「奥州（胆江）地域の医療を考える会」等、県内各地から多くの方々が参加して下さいました。

主催は、「岩手県地域医療を守る住民組織連絡会」と県医労も構成団体の一つ

自治体病院の課題と運動 地域住民と共に創る地域医療

自治体病院労組 全国交流集会in静岡

12月4日～5日、静岡県熱海市で開催された「自治体病院労組全国交流集会」に全国から20名(岩手5名)が参加しました。

初日は、日本福祉大学教授・国民医療研究所副所長の牧野忠康先生を講師に「地域医療再構築と自治体病院の役割」と題して講演が行われました。自治体病院を取り巻く状況や今後についてユーモアを交えながら説明。自治体病院の役割は、地域住民と協働しながら、地域医療を創っていく地域文化を創ることであると述べました。



報告する佐々木委員長

続いて、特別報告が行われ、岩手からは県立病院の縮小・再編の流れと、それに対する労働組合と地域住民組織のたたかいについて報告しました。他にも、神奈川県立病院の地方独立行政法人移行に伴うたたかいや、京都舞鶴市の公的病院再編問題についての報告があり、翌日も引き続き、各自治体病院からの報告と討論が活発に行われました。

現在、「公立病院改革ガイドライン」に基づき、ほとんどの自治体で「改革プラン」が策定され、経営形態の変更や再編・縮小が強行されています。今回の交流集会では、私達自治体病院職員の役割と今後の課題を学習することが出来ました。そして、今後も、地域住民と共に地域医療を守り創る活動をより強く進めていく事を確認しました。

春闘討論集会 来春闘へ集会 「全力でがんばろう」



全国から190名が参加（熱海市）

早くも来年の春闘に向け、取り組みがスタートしています。日本医労連では、制度・政策要求での前進のチャンス、社会保障充実、地域医療をまもる運動を大いに進めよ

うと春闘討論集会を開催し、たたかう決意を固めました。

日本医労連の田中委員長が「政権交代という新しい情勢の中での、初めての春闘だ。全力でがんばろう」とあいさつ。国民医療研究所の日野秀逸所長の記念講演も「政権交代下における医療・社会保障制度の課題」として、「国民運動を盛り上げ、民主党との協力関係を形成することが課題」と指摘し、総花的な運動ではなく、「個々の具体的動向に基づいて批判と協力を進めること」が大事故だ、と指摘しました。

その後、分散会形式で、各単組、地域の運動や、春闘への決意、方針などを交流しました。45県から190人が参加しました。



左から2人目が村山看護指導監

看護部会

2年ぶりに 看護指導監と懇談

12月14日、2年ぶりに看護指導監と看護部会の懇談が行われました。

参加人数に制約があったため、看護部会役員を中心に5名が出席しました。

先に提示していた「看護

師の労働実態調査結果」に

ついて、村山看護指導監は

「記載欄に寄せられた二人一人

のコメントを読んでいると気が

持ちが下向きになる。現場

は（書いてある）その通り

なんだと思う」と、職員の

訴えを謙虚に受け止める

姿勢を見せ、「いい案

をお互い出して、何か

ひとつでも良い方向へ向

かうよう、意見交換を

したい」と話しました。

それを受け看護部会

から、働き続けられな

い職場実態があること、

職場の管理者の態度が

病棟の雰囲気を作るこ

と等を訴えました。

また、「超過勤務を

減らす工夫は？」と問われ、

看護部会からは、「委員会、

研修会を少なくして欲しい」

と要望し、「機能別を一部、

取り入れるべきでは」との

意見も述べました。また宮

古病院のある病棟で行ってい

る、看護師2人を1組とする

る、看護師2人を1組とする
るバディ制も効果を上げてい
ることを報告しました。

村山看護指導監は、看護

師の業務範囲の見直しで、

業務改善を考えているとし、

「私たちは同じ看護職であ

り、別々の道ではない」と

話しました。

今回は看護師の職場実

態、労働環境が主な内容と

なりましたが、今後も懇談

を重ね、看護師の労働条件

改善に取り組みます。

日本医労連 「2010年看護・介護職員 全国交流集会」

日時 2月13日(土)13:30～14日(日)12:00

場所 大阪「ホテルコスモスクエア国際交流センター」

内容

<1日目全体集会>

- ・記念講演 「いま、時代の転換点
ーケアの原点を考えるー」(仮題)

講師 川島みどり

日本赤十字看護大学・看護学部長

- ・特別報告

<2日目分散会・分科会>

全体で5名まで本部負担とします。

大阪で全国の仲間と交流しましょう。

おけっち

団交で、年

末年始の労働

条件の切り下

げを強行した

医療局。これ

では、職員の

やる気は起こ

らない。生と死を前に仕

事をしている職員に何故、

一言の感謝やねぎらいの言

葉も無いのか？

職員、患者に冷たい医

療局の方針。休みもろく

にもみえず、具合が悪く

てもなかなか休めず頑張っ

ているのに、病気になる、

「自己管理ができていな

い！」現場はモチベーショ

ンが下がりはなしだ。

これでは今年も多くの

看護職員が中途離職が懸

念される。

目先の赤字だけでなく

真剣に職員や地域医療の

将来を考えてもらいたい。

(K)

て元気になる!

ございます。

迎えたでしょうか。新年早々、やる気が失せばかりで、良いことなんて全然ない。そんな私たちは、めげずにがんばっています。

いろいろ総意・工夫をしてみんなで集まる場を作っ仲間をつくり、忙しいだけの職場から、やりしていきましょう。



(上) おかあさんと一緒(三陸) (下) 竹細工のカゴの完成です(北部)



中部



(上) 囲炉裏を囲んで「昔、あったずもな…」
(下) 語り部さんと記念撮影

晩秋とは思えないほど暖かい11月7日、中部ブロックは、「遠野ふるさと村」を会場に、そば打ちと、遠野の民話を聞きまし

かやぶき屋根の曲がり屋に入り、おばあちゃんから教えてもらってそばを打ち、お昼に打ったそばを食べ、そのあとは、昔話をしてもらったという趣で、親子で楽しみ、豊かなひとときを過ごすことができました。集会には、4支部・本部32名が参加し、子どもたちもたくさん参加しました。

北部

北部ブロックでは、11月14日、一戸町の「もみじ交遊舎」で、町特産のすず竹を使った竹細工づくりに挑戦しました。講師の方の親切な指導で、大きさも、形も手頃で、長く使えそうなカゴを完成させ、全員、満足げな表情でし

た。「帰ったら、ミカンでも入れようかな」と、早速、使い道を考えて、「次は、違うものを作ってみたい」と、創作意欲を膨らませる参加者もいました。集会には、4支部・本部30名が参加しました。



ケガをしないように気をつけて…

女性が集まって



(上) そば打ち体験(中部) (下) 毛越寺の門前で(南部)



女性部のみなさん 明けましておめでとう
新しい年をみなさんは、どのような思いで
るような労働条件の改悪。職場は厳しくなる
思いでいる人も少なくないでしょう。でも、
今年度のブロック集会でも、女性部はいろし
てきました。今年もみんなで楽しみながら、
甲斐のある職場、いきいきとした職場をめざ



南部



平泉・中尊寺・毛越寺と散策

南部ブロックは、
11月7日、バスで
平泉・中尊寺めぐ
りをしました。イ
ンフルエンザの影
響で、休みが思う
ように取れず、4
支部・本部13名の
参加にとどまりま
したが、好天に恵
まれ、今年最後の
紅葉の下で、気分
転換ができました。
地元では、見慣
れた観光地ですが、
ほとんどの参加者
がガイドさんの話
を聞きながら散策
するのは初めてで、
平泉の歴史の一端
に触れることがで
き、旅行気分を味
わうことができました。
昼食も、美味し
い料理を頂きなが
ら、話しもはずみ、
みんなで、集まる
ことの楽しさを実
感しました。

三陸

12月5日、三陸ブロックは、ク
リスマス・ツリーの布絵を作りま
した。作製時間の2時間は短く感
じられましたが、まったく同じも
のはなく、一人ひとりの個性が光
る作品ができあがりました。額縁
に入れるとまた味わいがあり、季
節にあった楽しい作品を、それぞ
れ持ち帰りました。
昼食は、イタリアンレストラン
で、コース料理をいただき、一足
早いクリスマス気分を味わいまし
た。



布絵のクリスマス・ツリーです

新年到来 青年よ、立ち上がれ!!



新年、明けましておめでとうございます。

青年部は今年度、2年ぶりに定期大会を成立させ、好スタートをきりました。支部でも昨年の5支部を上回る7支部で定期大会が開催されています（12月21日現在）。



青年部役員一同（定期大会より）

現在、私達の職場は、人員不足による過密労働や慢性的な超過勤務に加え、年次は取れず、さらに人事院勧告による給料・一時金の引き下げという最悪な事態になっています。これまで諸先輩方が勝ち取ってきた権利も失われつつあります。

す。

しかし、このまま黙っていたのでは何も変わりません。私達の職場を変えるのは労働組合であり私達自身です。みんなの力で定期大会や青年部企画を成功させてきたように、みんなで力を合わせ、職場環境改善のために立ち上がりましょう！

まずは、青年部活動に参加して仲間との交流を広げながら県立病院の現状を知ることから始めましょう。それが、青年部活動の第一歩です。

青年同士の繋がりを大切に、楽しく交流し、楽しく学べる企画づくりを目指していきますので、共に力を合わせ、がんばっていきましょう！！

青年部役員 一同

青年部スキー・スノーボード交流会

【日時】

2010年1月23日(土) 17時～受付、18時～夕食交流
～24日(日) 終日自由行動

【場所】

安比高原スキー場・ホテル安比グランド&タワー

【費用】

- ・宿泊費(14000円)本部負担
- ・青年部員1人に付き各プログラム補助3000円
- ・旅費&日当は各支部で御検討下さい。

【締切】

2010年1月8日(金)まで
※プログラムの内容等、詳細は以前に発送したお知らせをご参照下さい。



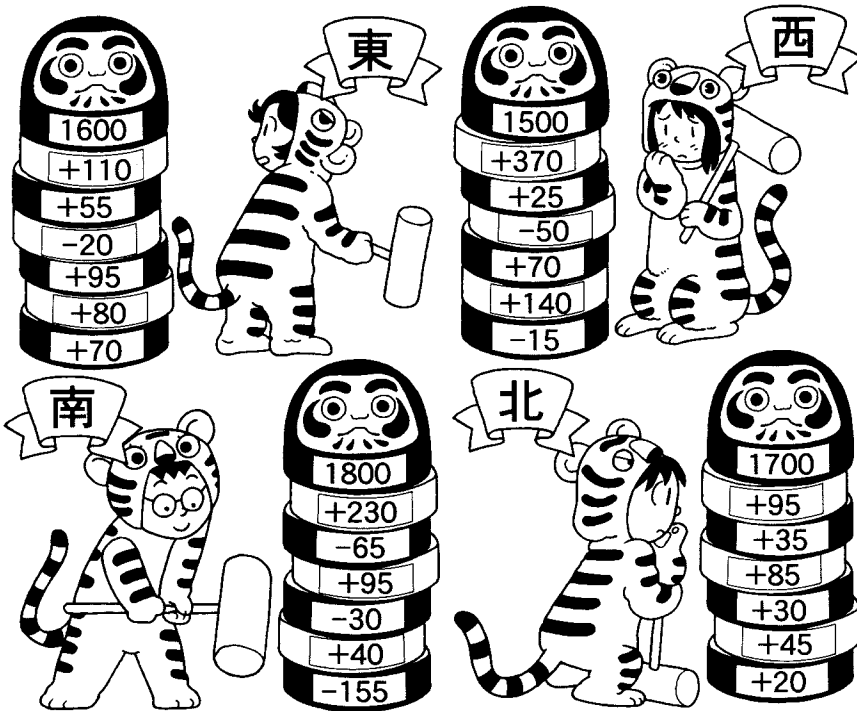
～前年度の様子～

県医労連青年部

ウィンター&スノーボード大会

《日時》2月21日(日) 13時受付開始
《場所》盛岡市中野「スターレーン」
《費用》参加費・旅費は本部負担
日当は支部で御検討下さい





【問題】 数字の書いてあるコマ（円柱）を、2個抜いたときに、合計が2010になるのは東西南北のどのダルマ落としでしょう？



出題●モロゾミ勝

【パズルの解き方】 カギをヒントにマス目をつけてください。二重マスの文字をA～Gの順に並べてできる言葉はなに？



戦国武将クイズ

武将と関係のある年号を線で結び、武將に付けられている文字を、年号の古い順に読むとある戦国武将の名前になります。それが答えです。

ヒントⅡ幼名は「虎之助」

- 1 5 6 1 年
- 1 5 8 2 年
- 1 5 9 0 年
- 1 6 0 0 年
- 1 6 0 2 年
- 1 6 0 3 年
- 1 6 1 5 年

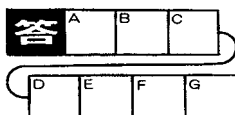
- ㊦ 豊臣秀吉Ⅱ天下統一を果たす
- ㊧ 真田幸村Ⅱ大坂夏の陣で戦死
- ㊨ 上杉謙信Ⅱ武田信玄と川中島で一騎討ち
- ㊩ 織田信長Ⅱ本能寺で明智光秀におそわれ自害
- ㊪ 石田三成Ⅱ関ヶ原の戦いで破れ六条河原で斬首
- ㊫ 徳川家康Ⅱ江戸幕府を開く
- ㊬ 伊達政宗Ⅱ仙台城を完成させる

ヨコのカギ

- 1 平たいガラス玉を指先ではじき当てて取り合う遊び
- 6 2016年のハ輪開催が決まったブラジルの都市
- 8 犬をかわいがっている人
- 10 まるくて細長く、中からは入り江、入り海ともいう
- 12 転ばぬ先の——
- 13 過疎（かそ）の反対語は？
- 15 大相撲で力士がふむ花札で9月札の花は？
- 18 宇宙空間に打ち上げられ、人を乗せて運航する飛行体
- 21 トラの威（い）を借る——
- 23 気はやさしくて——持ち
- 24 時間の単位。時、——、秒
- 25 銀行にお金を預ける人
- 27 ノドから胃につづく消化管

タテのカギ

- 1 前門のトラ、後門の——
- 2 地味ではありません
- 3 は小説よりも奇なり
- 4 ATMで預金を引きおろす——カード
- 5 オバマ大統領が受賞したノーベル——賞
- 6 物の外形を表わす線
- 7 バッキンガム宮殿があるイギリスの都市
- 8 「フーテンの寅」の俳優
- 9 居住用の建物
- 10 日本の——の単位は円
- 11 しあわせ
- 12 トキは特別天然——物
- 13 広告のためにくぼる紙
- 14 食品などの新鮮さの度合
- 15 ——とスッポンの差
- 16 紅——。ウーロン——
- 17 口にドリルを入れる人。——医
- 18 朝ねぼうの——つばり
- 19 モチをつくる道具の一つ



新春スター訪問

「日本の青空Ⅱ」で

沢内村村長を熱演

俳優 長谷川 初範さん

「私たちが働いて納めた税金ですから、国民の健康に国が責任を持つ医療制度になってほしいものです。理想ですが先々そうなるといいですね」

老人と乳児の医療費を全国に先駆けて無料にした岩手県沢内村の故・深沢晟雄（まさお）村長を描いた映画『いのちの山河－日本の青空Ⅱ』で、村長役を演じ



ました。「豪雪・貧困・多病」という問題を抱えていた山

あい小さな村で、戦後のまだ貧しい時代に「生命尊重こそ政治の基本」を貫いた人物です。

「決して上手な人生を歩んでいた方ではないんですね。佐世保の造船所で労働者の首切りをする役職がいやになり、五十歳近くになつて村に帰るんです」

現在社会とどこか似ている感じがします。派遣切り、貧困、医療崩壊―。

『行脚と対話』で村人のための政治に奔走する深沢村長。長谷川さんは「村民の健康を守りたいという村長の思いが伝われば」と映画

への期待を語ります。

俳優は体が資本。健康には人一倍気を使います。

「安心して仕事に向かう条件をつねにベストにしていなければなりません。そうでなければ百二十点をめざしてがんばれません。毎年の健康診断を欠かさず、何かあったら病院に行くように心がけています」

はせがわ・はつのり

1955年生まれ。北海

道出身。TVドラマ『ウル

トラマン80』の矢的猛役で

初主演。『101回目のプ

ロポーズ』で主人公の恋敵

として出演し、話題になり

ました。趣味は音楽鑑賞、

スキーなど多彩。

豆知識 トウの話

かつては絶滅寸前

ネコ科最大の動物トラ。体長は最大350センチを超え、体重が300キロに達する個体もあります。百獣の王ライオンと互角、あるいはそれ以上の戦闘力といわれ、自然界の食物連鎖ピラミッドのトップに君臨します。

ところが、100年前に10万頭が生息していたトラは、現在、最も多く生息する地域はインド亜大陸。70年代からの保護対策もあって、約2000頭のベンガルトラがマングローブに覆われる国立公園などに生息しています。



十一月号パズル 当選者発表

11月号パズル「まちがいは7つ」には33名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。11月号当選者（敬称略）

〇〇〇〇、〇〇〇〇（以

上、二戸支部）、匿名希望

（沼宮内支部）、考え中、ク

ッキーママ（以上、中央支

部）、わさび（中部支部）、匿

名希望（胆沢支部）、チャピ

ーママ（磐井支部）、はなち

ゃん、お昼寝さん（以上、大

船渡支部）

11月号当選者（敬称略）

忙しい業務ですが スタッフに助けられています

中部支部 ○ ○ ○ ○ さん

ドリンク剤で 乗りきってます



職場は手術直後や重症度の高い患者さんが多い病棟です。尊敬する同じ大船渡

出身の先輩の背中を見ながら、頑張っています。本当に、いつも忙しく、疲れているんです。職場では、疲労回復のドリンクやサプリメントは欠かせません。でも、職場のスタッフに恵まれて、

深夜なか日にもかかわらず快くインタビューに応じてくれた、○○○さん。「目の隈が」と、気にしながらも青年部のことや職場のこと等、たくさん話してくれました。

今年、遠野から転勤して、すぐ、青年部長という大役に。尊敬する職場の先輩に勧められ、即OKしたのだとか。インタビューの後、家で事例発表の準備をするという、がんばり屋さんでした。



せめて年次が取れるよう増員してほしい。
スタッフみんなの一番の願いです。

とても助けられています。これで人間関係が悪かったら、本当にもうダメだったと思います。

ぜひ増員してほしいですね。年次が取れないのが不満です。遠野から転勤してきて、まだ年次は1日と2時間しか取っていません。疲れるので休みの日は、寝てばかりいます。お料理も好きなんですけど、今はあまりやってませんね。

岩盤浴で リフレッシュ



趣味は温泉巡り、一人でも出かけちゃいます。最近では花巻温泉「千秋閣」の岩盤浴に行っています。大分県の名湯・湯布院温泉に一度行ってみたいですね。夢は国内一人旅（飛行機が苦手なので）。なかなか長期休暇が取りにくい状況なので、今は全国学会のときに少し足を延ばし、満足しています。

青年部から パワーを



青年部の活動が少しでも活発になれば、と思います。大変なときだからこそ、組合が頑張らなきゃいけないですよ。でも思ってるだけじゃ変わらないんですよ。

まずは来年2月27～28日に志戸平温泉で開催される青年部中部ブロック交流会にブロック支部から、たくさんさんの青年が参加してほしいです。



2006年6月 医労連青年部主催プレアクトin小岩井に参加

新春川柳

○モツタイナイ もったいないと この身体

(エコ人間)

○寅年だ 黄地に黒字の 家計簿を

(虎の子)

○公約は あの日あの時 言ったまで

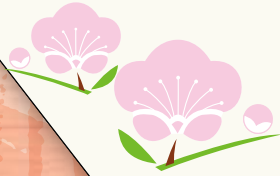
(生活第一の人)

○時短なし じたんだ踏んで 悔しがり

(覚えて郎)

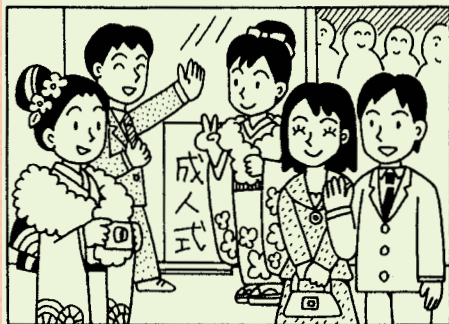
○新春の 夢を運ぶか 政権交代

(ギャンブラー)



新春パズル

上下どちらかの絵に7つの間違った箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で20名の組合員に記念品を送ります。送り先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は一月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つぶやき」



まちがいは7つ



(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合もありますので、匿名希望の場合には、その旨を書い

て下さい(ペンネーム可)。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入もお忘れなく!

1月の予定

- 8日(金) いわて労連旗開き(盛岡市・サンビル)
- 15日(金) 岩手医労連旗開き(エスポワールいわて)
- 21日(木) 拡大支部長会議・旗開き(愛真館)
- 22日(金) 春闘学習会(愛真館)
- 23日(土)~24日(日)
青年部スキー交流会(安比)
- 30日(土) 岩手医労連中央委員会(水産会館)

2月の予定

- 3日(水) 看護部会(水産会館)
- 6日(土)~7日(日)
東北地方協春闘討論集会(松島)
- 7日(日)~8日(月)
青年部 南部&三陸ブロック交流会(志戸平温泉)
- 13日(土)~14日(日)
看護・介護全国交流集会(大阪)
- 20日(土) 第143回中央委員会(勤労福祉会館)
岩手医労連女性労働学校(水産会館)
- 21日(日) 岩手医労連青年部ボーリング大会(盛岡市 スターレーン)
- 26日(金) 春闘要求書提出
- 27日(土)~28日(日)
青年部 中部ブロック交流会(志戸平温泉)
国民医療研究所看護講座(仙台)